

正誤表（達成状況評価）

91：東海国立大学機構

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p. 4	◎東海地域を強みを有する製造業、農林業をはじめとした…。	◎東海地域が強みを有する製造業、農林業をはじめとした…。	誤字があったため
02	p. 5	○2020年4月に「アカデミック・セントラル」を…。特に、学習成果を可視化する「学生ステータス・システム」の整備に向けて、…。	○2020年4月に「アカデミック・セントラル」を…。特に、学修成果を可視化する「学生ステータス・システム」の整備に向けて、…。	誤字があったため
03	p. 5	○糖鎖化学研究の最先端研究拠点としての…。 さらに、当研究所、自然科学研究機構「生命創生探求センター」及び…。	○糖鎖化学研究の最先端研究拠点としての…。 さらに、当研究所、自然科学研究機構「生命創生探究センター」及び…。	誤字があったため
04	p. 6	2020年4月、国立大学法人東海国立大学機構が創設されたことにあたって、以下の通り、中期目標及び中期計画を新設した。	2020年4月、国立大学法人東海国立大学機構の創設にあたって、以下の通り、中期目標及び中期計画を新設した。	より正確な表記にするため
05	p. 6	<中期目標 1-(2)-TM2>	<中期目標 1-(2)-TM2>	表記を統一するため
06	p.12	○ ジョイントディグリー・プログラム等の実施を…。	○ <u>ジョイント・ディグリープログラム</u> 等の実施を…。	正式名称に修正するため
07	p.15	○世界に挑む優れた人材の育成 ・卓越大学プログラム3プログラムの選定	○世界に挑む優れた人材の育成 ・ <u>卓越大学院</u> プログラム3プログラムの選定	脱字があったため
08	p.16	○受託研究・共同研究・特許等の拡大 ・企業出身を…「学術研究・産学官連携本部」が研究支援等を行い…	○受託研究・共同研究・特許等の拡大 ・企業出身を…「 <u>学術研究・産学官連携推進本部</u> 」が研究支援等を行い…	正式名称に修正するため

正誤表（達成状況評価）

09	p.20	○2013年度に採択された…、第3期中期計画期間中（2016年度～2019年度）において、…。	○2013年度に採択された…、第3期中期 <u>目標</u> 期間中 <u>の4年間</u> （2016年度～2019年度）において、…。	より正確な表記にするため
10	p.22	・2019年度には…、第3期中期計画期間中（2016年度～2019年度）では…。	・2019年度には…、第3期中期 <u>目標</u> 期間中 <u>の4年間</u> （2016年度～2019年度）では…。	より正確な表記にするため
11	p.22	○グローバルな教育を推進するため、…。 まず…、第3期中期計画期間中（2016年度～2019年度）において、…。また、第3期中期計画期間中（2016年度～2019年度）において、…。そして…、第3期中期計画期間中（2016年度～2019年度）において、…。	○グローバルな教育を推進するため、…。 まず…、第3期中期 <u>目標</u> 期間中 <u>の4年間</u> （2016年度～2019年度）において、…。また、第3期中期 <u>目標</u> 期間中 <u>の4年間</u> （2016年度～2019年度）において、…。そして…、第3期中期 <u>目標</u> 期間中 <u>の4年間</u> （2016年度～2019年度）において、…。	表記を統一し、より正確にするため
12	p.23	○人文社会科学系を…。第3期中期計画期間中（2017年度～2019年度）に…。	○人文社会科学系を…。第3期中期 <u>目標</u> 期間中 <u>の3年間</u> （2017年度～2019年度）に…。	より正確な表記にするため
13	p.23	○「世界トップレベル研究拠点プログラム」、…。	○ <u>指定国立大学構想に基づき</u> 、「世界トップレベル研究拠点プログラム」、…。	4年目終了時評価から変更を行った中期計画の表記にそろえるため
14	p.23	○国内外の先進的研究機関との連携を推進し、…。 特に、…オールジャパン体制「GaN 研究コンソーシアム」を構築・活用した研究開発を促進する。	○ <u>指定国立大学構想に基づき</u> 、国内外の先進的研究機関との連携を推進し、…。 特に、…オールジャパン体制「 <u>GaN コンソーシアム</u> 」を <u>活用</u> した研究開発を促進する。	4年目終了時評価から変更を行った中期計画の表記にそろえるため
15	p.23	○世界有数の産業集積地に位置するという特色を活かして、…。	○ <u>指定国立大学構想に基づき</u> 、世界有数の産業集積地に位置するという特色を活かして、…。	4年目終了時評価から変更を行った中期計画の表記にそろえるため

正誤表（達成状況評価）

16	p.24	○グローバルな教育を推進するため、ジョイント・ディグリープログラムを含む教育プログラム等の充実により、…。	○ <u>指定国立大学構想に基づき</u> 、グローバルな教育を推進するため、 <u>JDP</u> を含む教育プログラム等の充実により、…。	4年目終了時評価から変更を行った中期計画の表記にそろえるため
17	p.24	○世界最高水準の学術活動を国際的に展開し、…。	○ <u>指定国立大学構想に基づき</u> 、世界最高水準の学術活動を国際的に展開し、…。	4年目終了時評価から変更を行った中期計画の表記にそろえるため
18	p.24	(※記載なし)	<p><u>[4年目終了時評価から変更等のあった計画]</u></p> <p><u>2020年4月、国立大学法人東海国立大学機構の創設にあたり、指定国立大学法人に指定されている名古屋大学においては、当該構想に関する中期計画の冒頭に「指定国立大学構想に基づき、」という表記を加えた。本件については、内容を伴う変更ではないため、記載を省略する。</u></p> <p><u>以下に、4年目終了時評価から実質的な内容について変更のあった計画を記す。</u></p> <p><u>○指定国立大学構想に基づき、国内外の先進的研究機関との連携を推進し、共同利用・共同研究拠点である「宇宙地球環境研究所」、「未来材料・システム研究所」、「情報基盤センター」を含む研究所・センター等の組織・機能と活動を強化するため、優れた外国人教員を雇用し、研究施設・設備を充実させ、全国の</u></p>	4年目終了時評価から変更があった中期計画を追記するため

正誤表（達成状況評価）

			<p style="color: red;">研究者のニーズを反映した共同利用・共同研究を促進する。</p> <p style="color: red;">特に、窒化ガリウム (GaN) パワー半導体の早期実用化に向けて、「未来エレクトロニクス集積研究センター」及び同センターを拠点とするオールジャパン体制「GaN コンソーシアム」を活用した研究開発を促進する。(関連する中期計画 3-(2)-ア-TK34-③)</p>					
19	p.35	・2020年度までは「先端研究基盤共用促進事業新たな共用システム導入支援プログラム」において…。	・2020年度までは「先端研究基盤共用促進事業 <u>（新たな共用システム導入支援プログラム）</u> 」において…。	より正確な表記にするため				
20	p.37	東海国立大学機構としての…、令和2年4月、東海国立大学機構に「学術研究・産学官連携統括本部」を設置し、…。	東海国立大学機構としての…、 <u>2020</u> 年4月、東海国立大学機構に「学術研究・産学官連携統括本部」を設置し、…。	表記を統一するため				
21	p.39	その間、世界展開の足掛かりとなる…基本構想のロードマップの策定ーロードマップ2020ーへのヒューマングリコームプロジェクトの掲載が…。	その間、世界展開の足掛かりとなる…基本構想のロードマップの策定ーロードマップ2020ーへの <u>ヒューマングリコームプロジェクト</u> の掲載が…。	正式名称に修正するため				
22	p.50	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">中期計画 2-(1)-ア- TK4-④</td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> </table>	中期計画 2-(1)-ア- TK4-④		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">中期計画 2-(1)-ア- TK4-④</td> <td style="width: 20px; text-align: center; color: red;">★</td> </tr> </table>	中期計画 2-(1)-ア- TK4-④	★	「個性の伸長に向けた取組」を示す★の記載を失念していたため
中期計画 2-(1)-ア- TK4-④								
中期計画 2-(1)-ア- TK4-④	★							

正誤表（達成状況評価）

23	p.50	4年目終了時 判定結果	【3】中期計画を実施し、優れた実績を上げている	4年目終了時 判定結果	【2】中期計画を実施している	誤記があったため
24	p.62	中期計画 2-(4)-ア- TK22-④	★ ◆	中期計画 2-(4)-ア- TK22-④	— —	「個性の伸長に向けた取組」及び「戦略性が高く意欲的な目標・計画」を示す★◆を削除
25	p.69	大学院生と社会人がグループを組んで、…、広い適用範囲を持つデータ処理技術およびAIに関する大学院レベルのスキル獲得を担う履修プログラムとして、…。		大学院生と社会人がグループを組んで、…、広い適用範囲を持つデータ処理技術及びAIに関する大学院レベルのスキル獲得を担う履修プログラムとして、…。		表記を統一するため
26	p.71～ 72	さらに、創薬科学研究科では、…、創薬科学研究科の学生に向けて解放され受講可能となった(2020年度、2021年度とも70科目以上)。		さらに、創薬科学研究科では、…、創薬科学研究科の学生に向けて開放され受講可能となった(2020年度、2021年度とも70科目以上)。		誤字があったため
27	p.74	【経済学部、経済学研究科】 【工学部、工学研究科】		【経済学部・経済学研究科】 【工学部・工学研究科】		表記を統一するため
28	p.75	経済学部、経済学研究科及び工学部・工学研究科では、…。		経済学部・経済学研究科及び工学部・工学研究科では、…。		表記を統一するため
29	p.76	【工学部、工学研究科】		【工学部・工学研究科】		表記を統一するため
30	p.76	特にサポートを必要とする学生のニーズに付き添うよう心がけた。		特にサポートを必要とする学生のニーズに <u>審り</u> 添うよう心がけた。		より正確な表現にするため
31	p.76	また、人数及びテーマ上で制限の無いイベント		また、人数及びテーマ上で制限の無いイベント		誤字があったため

正誤表（達成状況評価）

		トは、他部局の学生にも解放しながら、…。	トは、他部局の学生にも <u>開放</u> しながら、…。	
32	p.76	本事業のうち、…、本来の就職支援の枠を超えたキャリア形成/人材育成系のイベントへの関心が伺えた。	本事業のうち、…、本来の就職支援の枠を超えたキャリア形成/人材育成系のイベントへの関心が <u>窺</u> えた。	誤字があったため
33	p.78	教育学部、教育発達科学研究科では、	教育学部・ <u>教育発達科学研究科</u> では、	表記を統一するため
34	p.80	【教育学部、教育発達科学研究科】 【医学部、医学系研究科】 【工学部、工学研究科】	【教育学部・ <u>教育発達科学研究科</u> 】 【医学部・ <u>医学系研究科</u> 】 【工学部・ <u>工学研究科</u> 】	表記を統一するため
35	p.81～ 82	【教育学部、教育発達科学研究科】 【医学部、医学系研究科】 【工学部、工学研究科】	【教育学部・ <u>教育発達科学研究科</u> 】 【医学部・ <u>医学系研究科</u> 】 【工学部・ <u>工学研究科</u> 】	表記を統一するため
36	p.85	…、GaN エピタキシャル成長技における世界的レベルの研究拠点を立ち上げることができた。(中期計画 3-(2)-ア-TK34-③)	…、GaN エピタキシャル成長 <u>技術</u> における世界的レベルの研究拠点を立ち上げることができた。(中期計画 3-(2)-ア-TK34-③)	脱字があったため
37	p.88	・総務省プロジェクト……。第2期 SIP プロジェクトは、「IoE 社会のエネルギーシステム：エネルギー伝送システムへの応用を見据えた基盤技術 (2018 年～2022 年)」では、…	・総務省プロジェクト……。第2期 <u>SIP プロジェクト</u> 「IoE 社会のエネルギーシステム：エネルギー伝送システムへの応用を見据えた基盤技術 (2018 年～2022 年)」では、…	より読みやすい文章にするため
38	p.90	また、2022 年度に YLC テニユア審査（上限 2 名）を実施するため、2021 年 11 月受入部局向け、12 月に対象者向けに公募説明会を実施した。	また、2022 年度に YLC テニユア審査（上限 2 名）を実施するため、2021 年 <u>11 月に</u> 受入部局向け、 <u>同年 12 月に</u> 対象者向けに公募説明会を実施した。	より正確な表記にするため
39	p.90	(C) 優れた若手研究者の雇用及び育成のた	(C) 優れた若手研究者の雇用及び育成のため	より正確な表記にするため、「【名古屋大

正誤表（達成状況評価）

		めの制度・環境整備【名古屋大学テニユア・トラック制度】	の制度・環境整備 _____	学テニユア・トラック制度】という記載を削除				
40	p.91	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">中期計画 3-(2)-ア-TK34-③</td> <td style="text-align: center;">★ ◆</td> </tr> </table>	中期計画 3-(2)-ア-TK34-③	★ ◆	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">中期計画 3-(2)-ア-TK34-③</td> <td style="text-align: center;">★ ◆ 変更</td> </tr> </table>	中期計画 3-(2)-ア-TK34-③	★ ◆ 変更	4年目終了時評価から変更があった中期計画であるため
中期計画 3-(2)-ア-TK34-③	★ ◆							
中期計画 3-(2)-ア-TK34-③	★ ◆ 変更							
41	p.91	○デジタルユニバーシティ化の実証実験 近年の・・・宇宙地球開発研究所が中心となって、・・・	○デジタルユニバーシティ化の実証実験 近年の・・・ <u>宇宙地球環境研究所</u> が中心となって、・・・	正式名称に修正するため				
42	p.94	・2020～2021年度の2年間において、台湾、ベトナム、インド、オランダ、ベルギー、ルーマニアの6カ国から延べ15名の外国人研究者を特任教員及びポストク研究者と雇用し、国際連携研究を推進できた。	・2020～2021年度の2年間において、台湾、ベトナム、インド、オランダ、ベルギー、ルーマニアの <u>6カ国(地域)</u> から延べ15名の外国人研究者を特任教員及びポストク研究者 <u>として</u> 雇用し、国際連携研究を推進できた。	より正確な表記にするため				
43	p.95	・・・、GaNエピタキシャル成長技における世界的レベルの研究拠点を立ち上げることができた。	・・・、GaNエピタキシャル成長 <u>技術</u> における世界的レベルの研究拠点を立ち上げることができた。	脱字があったため				
44	p.96	・第2期SIPプロジェクトは、「IoE社会のエネルギーシステム：エネルギー伝送システムへの応用を見据えた基盤技術(2018年～2022年)」では、・・・	・ <u>第2期SIPプロジェクト</u> 「IoE社会のエネルギーシステム：エネルギー伝送システムへの応用を見据えた基盤技術(2018年～2022年)」では、・・・	より読みやすい文章にするため				
45	p.104	また、岐阜大学と連携し、「アルバータ大学オンラインビジネス研修」を実施した。(TK36-③(A)再掲)	また、岐阜大学と連携し、「アルバータ大学オンラインビジネス研修」を実施した。 _____	再掲ではないため、「(TK36-③(A)再掲)」という記載を削除 ※本修正に伴い、p.113「(TK35-②(A)再掲)」				

正誤表（達成状況評価）

				掲)」も削除。
46	p.104	こうした取組は全国各地の大学に広まり、 <u>本センターは先導的な役割を果たした</u> と言える。	こうした取組は全国各地の大学に広まり、 <u>本センターは先導的な役割を果たした</u> と言える。	下線を引く箇所に誤りがあったため
47	p.104	コロナ禍において…、留学生教育や国家間の防災政策連携・技術開発プロジェクトにおいても成果を挙げたことは特質される。	コロナ禍において…、留学生教育や国家間の防災政策連携・技術開発プロジェクトにおいても成果を挙げたことは <u>特筆</u> される。	誤字があったため
48	p.110	特に、大学間コンソーシアム環太平洋大学協会…に参画し、オンラインにより海外の協定大学の単位認定可能なプログラムへの参加を学生に推奨した。	特に、大学間コンソーシアム環太平洋大学協会…に参画し、オンラインによる <u>海外協定校</u> の単位認定可能なプログラムへの参加を学生に推奨した。	より読みやすい文章にするため
49	p.110	・新型コロナ…2019年度末ごろから続いている状況であったため、 <u>国内に留まりながら…提供し、…</u> 。	・新型コロナ…2019年度末頃から続いている状況であったため、 <u>国内に留まりながら…提供し、…</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> ・表記を統一するため ・下線を引く箇所に誤りがあったため
50	p.111	2021年10月までに…2021年度6名）が博士学位を授与され、…。各国サテライトキャンパスでの…質の高い教育研究指導が行われると同時に、…、一方的な博士学生教育に…新たな展開につながる取組が開始できている。	2021年10月までに…2021年度6名） <u>に</u> 博士学位を授与し、…。各国 <u>における</u> サテライトキャンパスでの…質の高い教育研究指導 <u>を行</u> うと同時に、…、一方的な博士学生 <u>の</u> 教育に…新たな展開につながる取組 <u>を開始すること</u> ができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・自大学の取組であることによる能動態への修正のため ・より読みやすい文章にするため
51	p.113	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、…、LEAP（文部科学省国際教育交流職員長期研修プログラム）による…。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、…、LEAP（文部科学省国際教育交流 <u>担当</u> 職員長期研修プログラム）による…。	脱字があったため

正誤表（達成状況評価）

52	p.113	・三重大学…着手した。(TK35-②(A)再掲)	・三重大学…着手した。_____	再掲ではないため、「(TK35-②(A)再掲)」 という記載を削除 ※本修正に伴い、p.104「(TK36-③(A)再掲)」も削除																		
53	p.114	○附属図書館の充実 また、2021年度には、「国宝重要文化材…」に 選定された。	○附属図書館の充実 また、2021年度には、「 <u>高木家文書</u> が文化庁 「国宝重要文化材…」に選定された。	より分かりやすい文章にするため																		
54	p.115	その結果、…業務及び教育活動を継続できた。	その結果、…業務及び教育活動を継続 <u>するこ と</u> ができた。	より読みやすい文章にするため																		
55	p.115	・BYOD…全学のゲートウェイとして、UTM 装置 を導入し、…さらに、既存の FW や…。	・BYOD…全学のゲートウェイとして、UTM <u>(Unified Threat Management)</u> 装置を導入 し、…さらに、既存の FW <u>(Firewall)</u> や…。	より分かりやすい文章にするため																		
56	p.116	その結果、…セキュリティ機能を強化できた。	その結果、…セキュリティ機能を強化 <u>するこ と</u> ができた。	より読みやすい文章にするため																		
57	p.117	・文部科学省…、購読経費契約と APC の最適 化に…。	・文部科学省…、購読経費契約と APC <u>(Article Processing Charge)</u> の最適化に…。	より分かりやすい文章にするため																		
58	p.118	その結果として、 <u>コロナ前…は維持できた。</u>	その結果として、 <u>コロナ前…を維持するこ と</u> ができた。	・より読みやすい文章にするため ・下線を引く箇所に誤りがあったため																		
59	p.118	・コロナ禍においても、…継続するため、 Zoom を活用した…。	・コロナ禍においても、…継続するため、 <u>Z</u> oom を活用した…。	1文字分の空白があったため																		
60	巻末 (定量的な指 標一)	中期計画番号・2-(1)-ア-TK 4-② <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>56名</td><td>76名</td><td>64名</td><td>37名</td><td>49名</td><td>31名</td></tr> </table>	56名	76名	64名	37名	49名	31名	中期計画番号・2-(1)-ア-TK 4-② <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td><u>56名</u></td><td><u>132名</u></td><td><u>196名</u></td><td><u>233名</u></td><td><u>282名</u></td><td><u>313名</u></td></tr> <tr><td><u>(56名)</u></td><td><u>(76名)</u></td><td><u>(64名)</u></td><td><u>(37名)</u></td><td><u>(49名)</u></td><td><u>(31名)</u></td></tr> </table>	<u>56名</u>	<u>132名</u>	<u>196名</u>	<u>233名</u>	<u>282名</u>	<u>313名</u>	<u>(56名)</u>	<u>(76名)</u>	<u>(64名)</u>	<u>(37名)</u>	<u>(49名)</u>	<u>(31名)</u>	正確な実績値（累計）にするため
56名	76名	64名	37名	49名	31名																	
<u>56名</u>	<u>132名</u>	<u>196名</u>	<u>233名</u>	<u>282名</u>	<u>313名</u>																	
<u>(56名)</u>	<u>(76名)</u>	<u>(64名)</u>	<u>(37名)</u>	<u>(49名)</u>	<u>(31名)</u>																	

正誤表（達成状況評価）

	覧)										
61	卷末 (定量 的な指 標一 覧)	中期計画番号・2-(3)-TK21-②				中期計画番号・2-(3)-TK21-②				正確な実績値（累計）にするため	
		13.5%	27.0%	-2.7%	21.6%	-8.1%	24.3%	<u>19.0%</u> <u>(42件)</u>	<u>40.3%</u> <u>(89件)</u>		<u>56.6%</u> <u>(125件)</u>
62	卷末 (定量 的な指 標一 覧)	中期計画番号・2-(4)-ア-TK22-③				中期計画番号・2-(4)-ア-TK22-③				正確な実績値（累計）にするため	
		141名	228名	237名	203名	17名	47名	<u>141名</u> <u>(141名)</u>	<u>369名</u> <u>(228名)</u>		<u>606名</u> <u>(237名)</u>